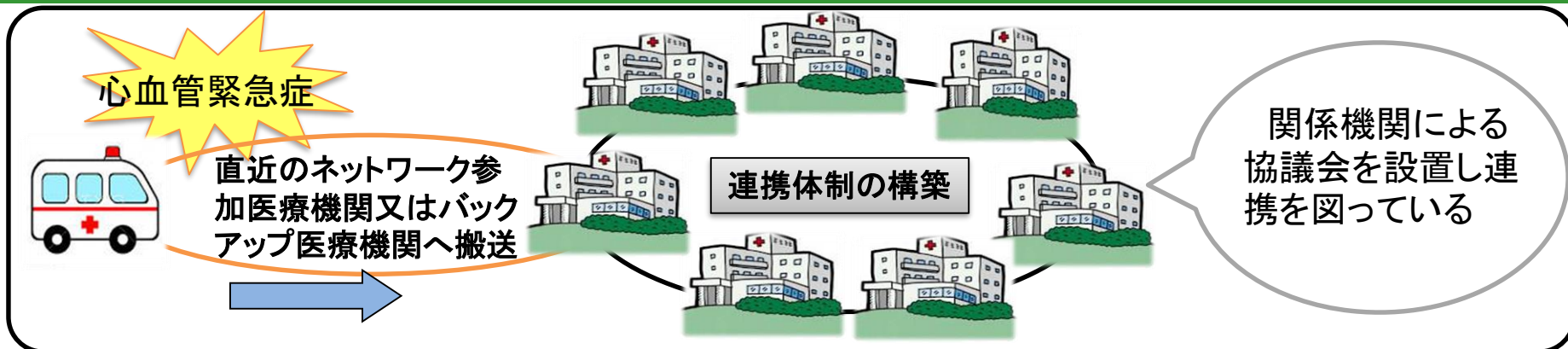


救急医療体制の充実に向けた地域の取組み①

参考資料

～川口CCUネットワークの取組み～



○ 事業概要

川口市内の医療機関、医師会、消防機関や行政が連携し、心血管緊急症が疑われる患者を円滑に治療につなげられるよう連携体制を構築している。(平成30年1月から実施)

○ ネットワーク参加医療機関(平成31年4月1日現在)

市内5医療機関

○ 事業実績

川口CCUネットワークを活用した搬送事案

(平成29年)96人 → (平成30年)235人 → (令和元年)321人(9月末まで)

○ 広域化に向けた取組み

令和元年10月 循環器基本法の施行を見据え、県から川口CCUネットワーク協議会に対し、医療圏等を単位とする広域的なネットワークへの拡大を提案

令和元年11月 関係機関による協議を行い、令和2年度からの運用を目標に広域化が合意される

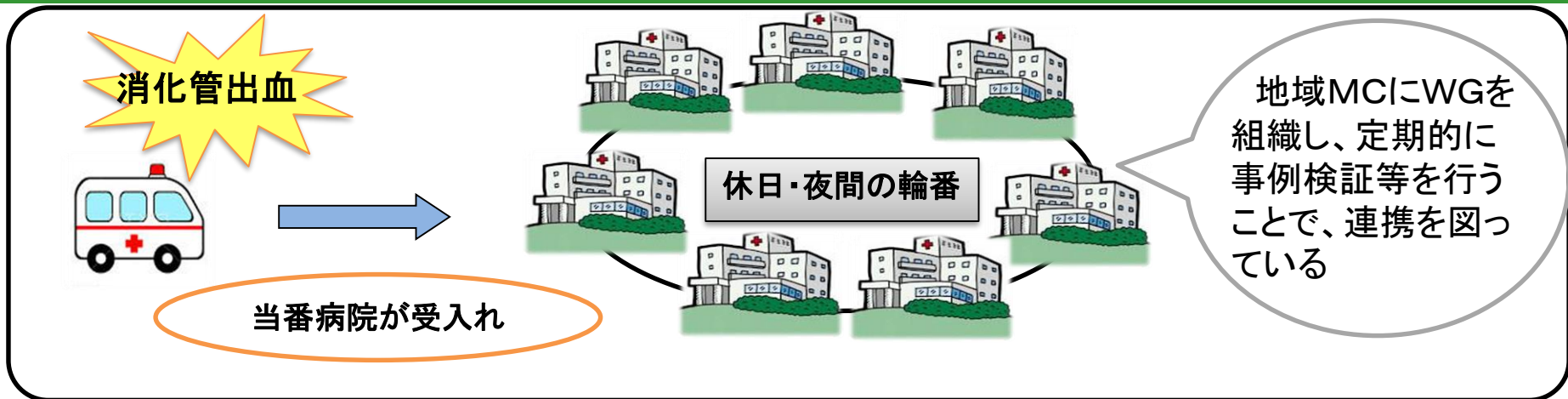
令和2年 2月 救急医療対策協議会(蕨・戸田、川口)において当該取組みが報告され、地域の中で合意される

⇒ 今後、川口市に加え蕨市・戸田市を含めた南部地域への広域化を予定

救急医療体制の充実に向けた地域の取組み②

参考資料

～東部MCにおける消化管出血輪番の実施～



○ 事業概要

搬送困難事案になりやすい消化管出血（STGIB）に対応できる医療機関や消防機関が連携し、夜間や休日の地域内における消化管出血が疑われる患者を円滑に治療につなげられるよう輪番体制を構築している。（平成29年4月から実施）

- 輪番参加医療機関（平成31年4月1日現在）
東部MC管内14医療機関

○ 事業効果

事業開始前の平成28年度と比較し、受入照会回数・現場滞在時間ともに減少

	受入照会回数	現場滞在時間
平成28年度	2.3回	29分32秒
平成29年度	2.0回	29分00秒
平成30年度	1.93回	28分43秒
	▲0.37回	▲49秒

※救急医療情報システムによる速報値
※STGIB運用時間内で実施基準「消化管出血」と入力されたものを抽出